◆2022年4月の新刊　日本キリスト教団出版局

混乱・混沌を深める世界に希望の種を蒔こう。世界を問い、御言葉に聴く黙想集

海鳥たちの遺言

世界と神を黙想する

上垣 勝（うえがき まさる） 著

1942年生まれ、大阪府出身。製鉄会社勤務を経て献身。日本キリスト教団牧師、教誨師、幼稚園理事長。福岡、青森、福井、東京の教会で47年間伝道牧会。2020年3月隠退。

聖書には時代背景があり、説教も時代背景を持つ。時代背景なしに聖書も説教もありえない。戦争、環境問題、人権、差別……今、世界で起こっているあらゆる事柄と、一人一人の人生との関わりを聖書から聴き取り、現代という時代の中で読み解く説教18編を収録。

四六判・並製・208頁・定価2,420円（本体2,200円＋税）

ISBN978-4-8184-1108-1　C0016

2022年 4月18日 刊行予定

目次

第1部
1. 海鳥たちの遺言――柔和な人たち（マタイ5・1–12）
2. 夕陽が沈むとき――天地創造（創世記1・1–8）
3. イエスの平和――地震と原子力発電所（マルコ4・35–41）
4. 自然界の祝福――エコロジカルなハルマゲドン（イザヤ35・1–2）
5. 死も喜び、そこまで行きたい――あなたはアダム（創世記2・7–8）

第2部
1. メルケルさん――君の力の源は何ですか（使徒3・1–10）
2. 全身が輝く人――目をささげ手足をささげ降誕祭（ルカ11・33–36）
3. 思い切って生きよう――弟はドイツ兵に虐殺されました（使徒4・23–31）
4. ゲラサの狂人（上）――引きこもってひとり叫ぶ魂（マルコ5・1–20）
5. ゲラサの狂人（下）――不運な、哀しい人たち（マルコ5・1–20）
6. 「主の祈り」――今日のアリバイ（ルカ11・1–4）
7. 美しい献げもの――人生の1回性こそ宝（ルカ21・1–4）
8. 神に栄光、地に平和――若者がテゼ共同体に惹かれるわけ（ルカ2・8–14）
9. 闇の中でも光は輝く――たった1つの言葉でも十分（ヨハネ1・1–5）

第3部
1. 少年の献げもの――慶子ちゃん（創世記3・1–8、ヨハネ6・1–15）
2. 魂も殺せるか――「どうしてかしら、チュン」（マタイ10・26–31）
3. 変革の秘密兵器――福祉サービスをこえるもの（1コリント11・23–29）
4. てっぺんは頂上ではない――あなたの王が来る（コヘレト7・13、ヨハネ12・12–16）